令和５年度小・中学校教育課程研究協議会における改善の重点一覧

別紙２

各教科等全体における改善の重点　①　単元の指導計画作成と学習評価の充実による、各教科等で目指す資質・能力の育成　　②児童生徒に資質・能力を育成するための、１人１台端末の効果的な活用

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 小学校 | | 中学校 | |
| 総則 | 学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。 | 総則 | 学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。 |
| 国語 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための言語活動を位置付けた単元を構想すること。その際、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を進める観点から、１人１台端末の活用が効果的な場面について検討し、積極的に取り入れること。 2. 適切な評価規準を設定し、資質・能力の定着を確認する学習評価とその方法を構想すること。また、「努力を要する状況」の児童に対する手立てを適切に設定すること。 | 国語 | 1. 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための言語活動を位置付けた単元を構想すること。その際、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を進める観点から、１人１台端末の活用が効果的な場面について検討し、積極的に取り入れること。 2. 適切な評価規準を設定し、資質・能力の定着を確認する学習評価とその方法を構想すること。また、「努力を要する状況」の生徒に対する手立てを適切に設定すること。 |
| 社会 | 1. 育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、単元など内容や時間のまとまりを見通して学習問題を設定し、問題解決的な学習過程を工夫すること。その際、１人１台端末を効果的に活用すること。 2. 適切な評価規準を設定するとともに、評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、資質・能力の育成に生かすようにすること。 | 社会 | 1. 育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、単元など内容や時間のまとまりを見通して学習課題を設定し、課題を追究したり解決したりする学習過程を工夫すること。その際、１人１台端末を効果的に活用すること。 2. 適切な評価規準を設定するとともに、評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、資質・能力の育成に生かすようにすること。 |
| 算数 | 1. 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を明確にした単元及び授業を構想すること。 2. 授業のねらいに則した評価規準及び評価方法を適切に設定すること。 3. 資質・能力の育成に向けて１人１台端末を効果的に活用すること。 | 数学 | 1. 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を明確にした単元及び授業を構想すること。 2. 授業のねらいに則した評価規準及び評価方法を適切に設定すること。 3. 資質・能力の育成に向けて１人１台端末を効果的に活用すること。 |
| 理科 | 1. 「問題解決の過程」を踏まえて単元の学習活動を構想し、単元及び１単位時間で育成を目指す資質・能力を明確に設定すること。 2. 児童の学習状況を適切に評価し、指導の改善や資質・能力の育成につなげること。 3. 「観察、実験の代替」としてではなく、理科の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付け、１人１台端末を活用する場面を適切に選択し、効果的に活用すること。 | 理科 | 1. 「探究の過程」を踏まえて単元の学習活動を構想し、単元及び１単位時間で育成を目指す資質・能力を明確に設定すること。 2. 生徒の学習状況を適切に評価し、指導の改善や資質・能力の育成につなげること。 3. 「観察、実験の代替」としてではなく、理科の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付け、１人１台端末を活用する場面を適切に選択し、効果的に活用すること。 |
| 生活 | 1. 気付いたことを基に考えることができるようにするために、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。 2. 単元のまとまりを見通して、１人１台端末などの情報機器について、その特質を踏まえ、児童の発達の段階や特性、生活科の特質などに応じて適切に活用すること。 |  |  |
| 音楽 | 1. 児童が、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の充実を図ること。 2. 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に設定すること。 3. ①・②の実現に向けて、１人１台端末を効果的に活用すること。 | 音楽 | 1. 生徒が、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の充実を図ること。 2. 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に設定すること。 3. ①・②の実現に向けて、１人１台端末を効果的に活用すること。 |
| 図画工作 | 1. 題材における具体的な評価規準、指導事項等の整合性を図ること。 2. 児童が個性を生かして活動することができるようにするため、学習活動や表現方法などに幅をもたせるようにすること。 3. 表現の可能性を広げるための１人１台端末の活用を進めること。 | 美術 | 1. 題材における具体的な評価規準、指導事項等の整合性を図ること。 2. 指導計画を作成する際、生徒の思考のプロセスにおけるつまずきを予め想定すること。 3. 表現の可能性を広げるための１人１台端末の活用を進めること。 |
| 家庭 | 1. 題材において働かせる「見方・考え方」及び育成する「資質・能力」を具体化した２学年間を見通した題材指導計画及び評価計画を作成すること。 2. 家庭科の指導のねらいを達成するため、１人１台端末を効果的に活用する場面を設定した授業づくりや指導の工夫をすること。 | 技術・家庭 | 1. 教科の目標の実現を目指し、教科（題材）の「見方・考え方」及び育成する「資質・能力」を具体的に示し、３学年間を見通した題材の指導計画及び評価計画を作成すること。 2. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善において、題材のまとまりの中で１人１台端末を効果的に活用する場面を設定した授業づくりや指導の工夫をすること。 |
| 体育 | 1. 「ねらい」と「めあて」「課題」「活動」「まとめ」「振り返り」に一貫性のある授業を構想すること。 2. 体育科の特質に応じた学習が効果的に展開されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通した「指導と評価の計画」を構想すること。 3. ３つの資質・能力をバランスよく育成するため、体育科の特質に応じて１人１台端末を積極的に活用すること。 | 保健体育 | 1. 「ねらい」と「めあて」「課題」「活動」「まとめ」「振り返り」に一貫性のある授業を構想すること。 2. 保健体育科の特質に応じた学習が効果的に展開されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通した「指導と評価の計画」を構想すること。 3. ３つの資質・能力を育成する上で、GIGAスクール構想のもとでの１人１台端末を活用すること。 |
| 外国語活動・  外国語 | 1. 単元の指導計画を作成し、言語活動を通して目指す資質・能力を育成すること。 2. 単元の目標や評価規準を明確に設定し、指導と評価の一体化を図ること。 3. 目指す資質・能力を育成するために、１人１台端末（学習者用デジタル教科書）を効果的に活用すること。 | 外国語 | 1. 単元の指導計画を作成し、言語活動を通して目指す資質・能力を育成すること。 2. 単元の目標や評価規準を明確に設定し、指導と評価の一体化を図ること。 3. 目指す資質・能力を育成するために、１人１台端末（学習者用デジタル教科書）を効果的に活用すること。 |
| 道徳 | 1. 道徳教育に関する全体計画、別葉及び道徳科年間指導計画の活用・充実を図ること。 2. 道徳科授業において、教師の意図を明確にしたねらいを設定すること。その際、学習活動に着目し評価の着眼点を設定した上で、児童の学習状況を把握すること。 3. 道徳科の特質を踏まえ、効果的に１人１台端末を活用すること。 | 道徳 | 1. 道徳教育に関する全体計画、別葉及び道徳科年間指導計画の活用・充実を図ること。 2. 道徳科授業において、教師の意図を明確にしたねらいを設定すること。その際、学習活動に着目し評価の着眼点を設定した上で、児童の学習状況を把握すること。 3. 道徳科の特質を踏まえ、効果的に１人１台端末を活用すること。 |
| 総合 | 1. 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にし、指導計画を作成すること。 2. 総合的な学習の時間と各教科等との積極的な関連を図りつつ、探究的な学習の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）が発展的に繰り返されるようにすること。 3. ICTの特性や強みを踏まえ、探究的な学習の各過程における学習の質を高めるよう、１人１台端末の積極的な活用を進めること。 | 総合 | 1. 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にし、指導計画を作成すること。 2. 総合的な学習の時間と各教科等との積極的な関連を図りつつ、探究的な学習の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）が発展的に繰り返されるようにすること。 3. ICT の特性や強みを踏まえ、探究的な学習の各過程における学習の質を高めるよう、１人１台端末の積極的な活用を進めること。 |
| 特別活動 | 1. 「指導と評価の一体化」を実現するため、各学校で定めた評価の観点に基づく「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、１単位時間だけでなく活動の事前から事後までの一連の学習過程を多面的・総合的に評価し、学級担任とそれ以外の教師とで連携すること。 2. 特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICT を位置付け、１人１台端末を活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用すること。 3. 特別活動をキャリア教育の要として、学校の教育活動全体を通してキャリア教育を行うとともに、児童が活動を記録し蓄積する教材等（キャリア・ノート等）を活用すること。 | 特別活動 | 1. 「指導と評価の一体化」を実現するため、各学校で定めた評価の観点に基づく「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、１単位時間だけでなく活動の事前から事後までの一連の学習過程を多面的・総合的に評価し、学級担任とそれ以外の教師とで連携すること。 2. 特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICT を位置付け、１人１台端末を活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用すること。 3. 特別活動をキャリア教育の要として、学校の教育活動全体を通してキャリア教育を行うとともに、生徒が活動を記録し蓄積する教材等（キャリア・ノート等）を活用すること。 |
| 特別支援 | 1. 特別な教育課程編成の基本的な考え方を踏まえ、特別支援学級の教育課程を編成すること。 2. 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・活用をより一層推進すること。 3. 情報活用能力（情報モラルを含む。）等の学習の基盤となる資質・能力を育成のため、１人１台端末の活用を基本としたICTの活用等指導方法の工夫を行うこと。 | 特別支援 | 1. 特別な教育課程編成の基本的な考え方を踏まえ、特別支援学級の教育課程を編成すること。 2. 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・活用をより一層推進すること。 3. 情報活用能力（情報モラルを含む。）等の学習の基盤となる資質・能力を育成のため、１人１台端末の活用を基本としたICTの活用等指導方法の工夫を行うこと。 |